

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究への協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

| |
|---|
| 経皮的胆嚢ドレナージ留置後の経乳頭的胆嚢ドレナージ術の成績における後ろ向き検討 |
| 1. 研究の対象および研究対象期間 2016年1月1日から2023年12月31日に昭和大学藤が丘病院 消化器内科で急性胆嚢炎に対して経乳頭的胆嚢ドレナージを行なった患者さん |
| 2. 研究目的・方法 急性胆嚢炎は一般的に遭遇する疾患ですが、時に致死的となるため緊急的な処置が必要となる疾患です。急性胆嚢炎の治療は経皮的・経乳頭的・超音波内視鏡下の胆嚢ドレナージや、胆嚢摘出術と多岐にわたります。経乳頭的胆嚢ドレナージは内視鏡を用いた胆嚢ドレナージで、施行されている施設も多いですが難易度は高いと言われています。しかし急性胆嚢炎に対して一旦経皮的胆嚢ドレナージを留置することで、炎症の改善が得られ、この経乳頭的胆嚢ドレナージの成績が向上する可能性があると考えられます。そのため今回、診療録から経皮胆嚢ドレナージ留置後の経乳頭的胆嚢ドレナージの有用性を検討することといたしました。 |
| 3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年12月31日まで |
| 4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者さんの背景(年齢・性別・既往症)、採血データ(白血球・CRP・ビリルビン値)、使用した処置具、処置の成功の有無を抽出します。 |
| 5. 外部への試料・情報の提供 該当致しません。 |
| 6. 研究組織 研究責任者 昭和大学藤が丘病院 消化器内科 新谷 文崇 |

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学藤が丘病院消化器内科 氏名：新谷文崇

住所： 〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘1丁目30

電話番号： 045-971-1151 院内 PHS 5373